

こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

—第25回— 地盤改良「CDM工法」

岸壁や防波堤などの構造物を造る箇所の海底地盤が軟らかい場合、事前に地盤改良を行います。地盤改良を行わないと、構造物を載せた地盤が沈下して傾くなど、その構造物としての役割を果たせなくなるため、地盤改良は大変重要な工事の一つです。

前ページで紹介した沖洲(外)地区でも、岸壁を造る予定地で事前の地盤改良を行っています。地盤改良にも色々な工法がありますが、今回は、沖洲(外)地区で実施しているCDM工法について紹介します。

CDM工法 (Cement Deep Mixing method)



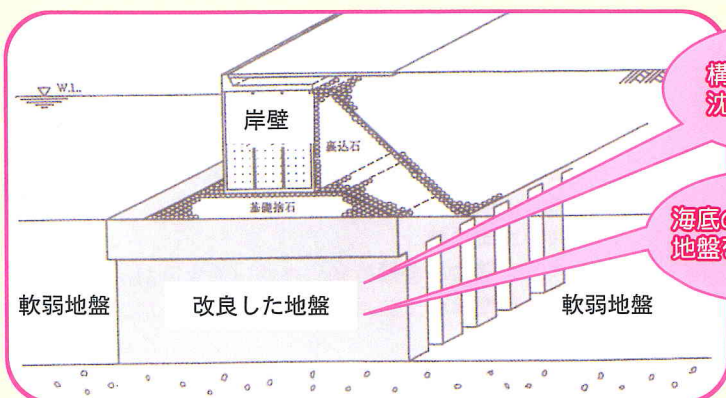
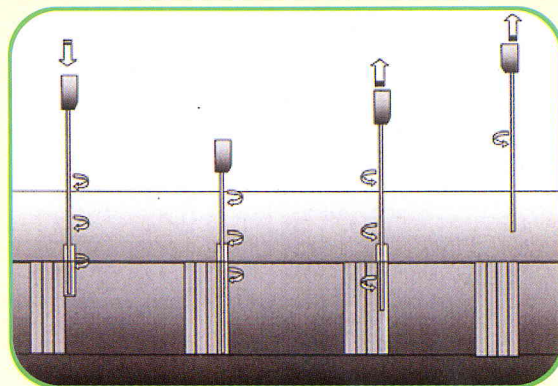
「深層混合処理工法」と言い、海底の深い層に機械を入れてセメント系材料を添加し、その箇所の柔らかい土と混合させて、地盤を固くする工法です。

この工法には、次の利点があります。

- 軟弱地盤をその場で固化させるので、周辺の海水の濁りを抑える事ができます。
- 振動・騒音がほとんど無く、周辺の構造物への影響が少ない工法です。

処理機貫入 → 処理機を引き抜きながらセメント系材料を吐出・攪拌 → 完了

海上の作業船



構造物の沈下を防ぎます。

海底の柔らかい地盤を固くします。

